

インフルエンザ予防接種

I 当院では高校生以上を対象としています。

インフルエンザの完全な予防対策はありませんが、最も期待されるものは予防接種です。
特に、65歳以上の方、あるいは60歳以上で、肺や心臓に病気がある方などは、特に予防接種をお勧めします。

II 12月中旬までに受けましょう。10月1日より始めます。

厚生労働省推奨接種回数

1歳～13歳未満

2回接種

13歳以上

1回接種

10月 11月 12月 1月 2月 3月

インフルエンザ多発時期 ←————→

接種後2週間で効力発揮 ←—— 接種が最適な期間 ——→

接種後5ヶ月間効力維持 ←————→

III 予約なしで接種できます。

予約は取っておりません。来院された順に接種できます。

IV 1回¥ 4,100 円(税込)です。

鹿児島市民は、高齢者等に対するインフルエンザ予防接種の助成制度があります。

① 接種日当日、65歳以上の鹿児島市民。

注)住所、氏名、年齢等が確認できる健康保険証、老人健康手帳、運転免許証等を提示してください。

② 接種日当日、60歳以上65歳未満で1級障害者手帳を持っている方等の鹿児島市民。

注)1級の障害者手帳等確認できるものを提示してください。

①,②の方は、自己負担金¥1,500円(1回のみ)

①あるいは②の方で、生活保護受給者及び市民税非課税世帯の方は無料です。

注)確認できる書類(生活保護受給証、市民税非課税証明書等)を提示してください。

V ワクチンの型は全国共通です。

令和6年度 ワクチン株型(令和6年4月に厚生労働省が決定)

型のタイプ	分離された都市	分離された順番	分離された年
① A	ビクトリア	4897	2022(IVR-38)(H1N1)
② A	カリフォルニア	122	2022(SAN-022)(H3N2)
③ B	プーケット	3073	2013(山形系統)
④ B	オーストリア	1359417	2021(BVR-26)(ビクトリア系統)

令和5年度の株からの変更点(平成27年度より、3種類から4種類になりました。)

①A型株:同じ

②A型株:ダーウィン/9/2021(SAN-010)(H3N2)→カリフォルニア/122/2022(SAN-022)(H3N2)

③B型株:同じ

④B型株:同じ

VI 効果は十分です。

- かかっても症状が軽くて済みます。大切な用件(仕事や受験等)を控えている方は、特に助かります。
- 65歳以上の健康な高齢者の約45%の発病を防止し、約80%死亡阻止といわれています。
- SARS や鳥インフルエンザ、いわゆる「カゼ」(カゼ症候群)には効果がありません。
- 接種後約2週間で効果が現れ、約5ヶ月間持続します。

VII 妊婦や授乳婦、乳幼児(他院にて)は接種できます。

- インフルエンザワクチンは、乳児、胎児に悪影響をおよぼすとは考えられていません。
- 一般的に妊娠中の全ての時期において安全とされています。
(*Birth Defects and Drugs in Pregnancy, 1977*)
(*J Infect Dis 140(2):141-146, 1979, Am J Obstet Gynecol 140:240-245, 1981*)
- 妊娠中にインフルエンザウイルスに感染すると、重度の合併症や入院のリスクを高めるとの報告があります。
(*Am J Epidemiol 1998;148:1094-102, Br J Obstet Gynaecol 2000;107:1282-9*)
- 世界的にワクチンの接種が勧められています。
(*MMWR 2009, Vol. 58 RR-8*)(*J Med Virol 2009, in press*)
- 乳児は、通常生後6ヶ月以降から接種可能です。しかし、当院では行っておりません。ご心配なら、同居の家族が接種し、予防する方法もあります。

VIII 接種後の過ごし方

- ① 接種当日はいつも通りの生活でかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ② 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすらないようにしましょう。
- ③ インフルエンザワクチンの副反応の多くは、24時間以内に起こりやすいです。特にこの間は、念のため体調に注意しましょう。
- ④ 予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。
- ⑤ 予防接種と同時に、他の病気がたまたま重なって現れることもあります。

IX 副作用は稀です。

- ① 比較的頻度が高い副作用(約10~20%):接種した部位の発赤・腫れ・痛み。
→通常2~3日で消えます。
- ② 全身性の副作用(約5~10%):発熱(時に39℃以上)、頭痛、悪寒、倦怠感など。
→通常2~3日で消えます。
- ③ 接種直後から数日中(極めてまれ):全身性の発疹、蕁麻疹、全身性のかゆみなど。
→医療機関をすぐに受診してください。
- ④ 接種後30分以内(極めてまれ):ショック、蕁麻疹、呼吸困難など。
→医療機関をすぐに受診してください。

X その他

- ① 接種前に、医師が副作用などを詳しく説明します。よく聞き、分からないことは、何でも質問してください。
- ② 医師の指示をよく守りましょう。
- ③ インフルエンザ予防接種以外は、原則として保険診療となります。
- ④ 万が一、健康被害が生じた場合は、被害を受けた方、またはご家族が独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づいて救済手続きを行うことができます。

かごしま高岡病院 Tel099-226-1370 鹿児島市西千石町14-12